学校番号	１０１２

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	（学）平面表現	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	絵画Ⅱ						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年次の絵画で学んだものをしっかりと見て、じっくり時間をかけて取り組みながらさらに表現の幅を広げていきます。現代美術や抽象絵画表現に挑戦したり、日本画の伝統的な制作方法を学び、写生の大切さやものの形を線であらわす美しさに触れます。
最終的には卒業制作で自分が表したい世界感に適した表現方法を自ら選択し､納得のいくものを作ることを目指します。

2　学習の到達目標

内面のイメージをドローイングし、集積から自分の表現したい主題を描いて探る。
日本画の体験を通じ、絵画作品は材料が変わることで全く異なった表現方法になることを知り、自らの表現の幅を広げる。
卒業制作では２年次に学んださまざまな表現方法を生かし、自らの主題を生成し表現を深め、主体的に絵画の可能性を追求できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・油絵の具の特性を理解し、オイルやキャンバスなど用具や材料を使いこなす。 ・デッサンを中心に、ものの形をしっかりと見て描く力を身につける。 ・名画が他の作家に与える影響や、作家の制作動機などを理解する。	・感性を働かせ、モチーフの良さや美しさ、自己の内面やイメージの世界を見つめ主題を生成する。 ・日本画の伝統的な用具・材料の取り扱いに慣れ、自己の新しい表現としての制作をすることが出来る ・体験を通じて多様な表現方法を学び、創意工夫をしながら創造的に絵を描く。	・絵画の多様な表現方法に関心を持ち、自己の考えやイメージ、内面の世界を表現し、美術の面白さを味わう。 ・魅力的と感じたモチーフを描くことに関心を持つ。 ・作者の意図や心情、表現の工夫を鑑賞や合評会を通じて理解し、良さを味わう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	風景画	風景画 F8 デッサン キャンバスに油彩	a: モチーフの美しさや特徴をしっかり見て描くことに関心を持つ b:絵の具の特性を理解し、色の重なりや感想の速度などを理解したうえで表現を深める c:キャンバスや絵の具の特性を理解する	エスキース ワークシート 制作途中の作品	エスキース ワークシート 制作途中の作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート
2	日本画	キャンバスに水張り	a: モチーフの美しさや特徴をしっかり見て描くことに関心を持つ b:絵の具の特性を理解し、色の重なりや感想の速度などを理解したうえで表現を深める c:キャンバスや絵の具の特性を理解する	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート
	先人に学ぶ油彩	キャンバス F8	a:絵の具の特性を理解し、名画のタッチや色合いなどを理解したうえで表現を深める。 b: 感性を働かせ、モチーフの良さや美しさを感じ取り、創意工夫をしながら創造的に絵を描く。 c:主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	エスキース ワークシート 制作途中の作品	エスキース ワークシート 制作途中の作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート
3	先人に学ぶ油彩	キャンバス F8	a:絵の具の特性を理解し、名画のタッチや色合いなどを理解したうえで表現を深める。 b: 感性を働かせ、モチーフの良さや美しさを感じ取り、創意工夫をしながら創造的に絵を描く。 c:主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	エスキース ワークシート 完成作品	エスキース ワークシート 完成作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度